

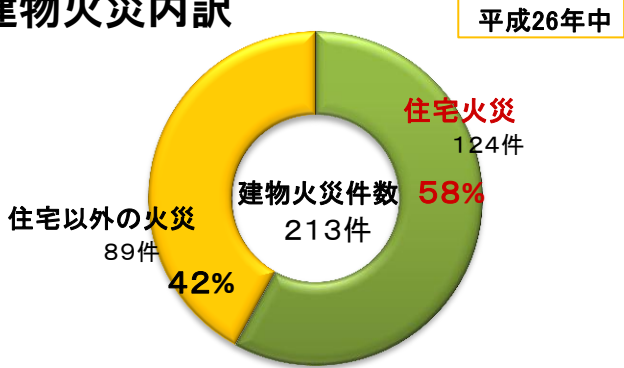
# 住宅火災を防止する！

住宅火災から「いのち」を守るために

## 住宅火災発生状況

平成26年中に市内で発生した建物火災213件のうち、124件（58%）が住宅火災で、前年より19件増加しています。また、住宅火災による死者数も増加しています。

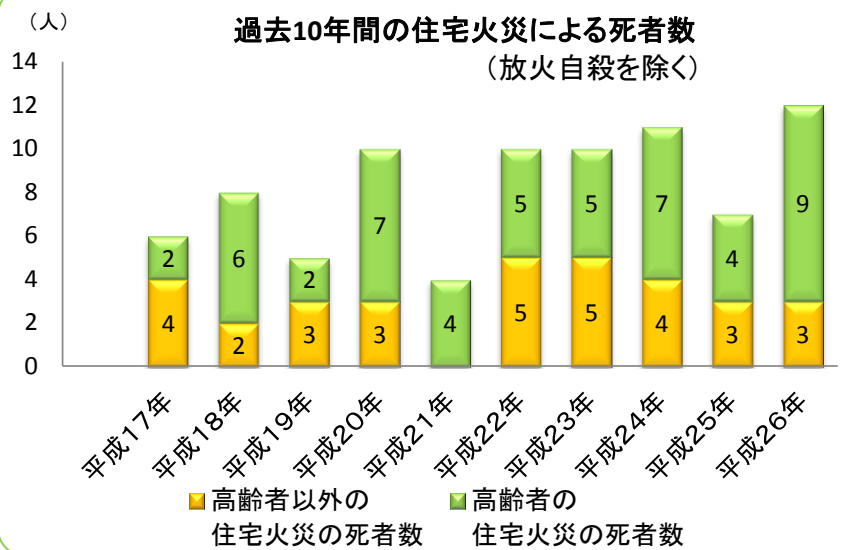
### 建物火災内訳



平成26年中、  
住宅火災により  
12人の死者が  
発生しています！  
(放火自殺を除く)

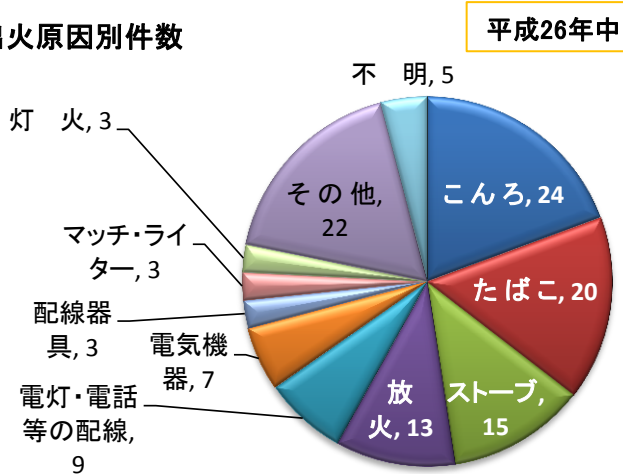
## 高齢者の死者が多い傾向に

平成26年の住宅火災による死者数のうち「75%が高齢者」です。  
今後さらなる高齢化の進展により、住宅火災における高齢者の死者数の増加が懸念されます。



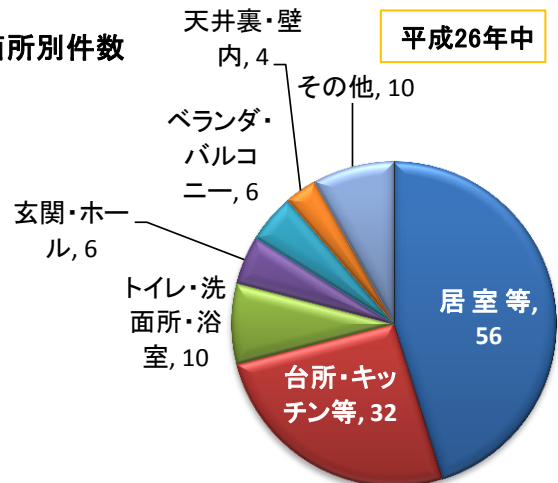
## 住宅火災の原因と出火箇所は？

### 出火原因別件数



出火原因は、こんろ、たばこ、ストーブ、放火（疑い含む）の順で多く、これらは過去5年間で上位を占めています。

### 出火箇所別件数



出火箇所は、居室等、台所・キッチン等が多く、合わせて全出火箇所の71%を占めています。

# 住宅火災を防止する！

住宅火災から「いのち」を守るために

## ☆いのちを守る7つのポイント☆

### 【3つの習慣】

寝たばこは、絶対やめましょう。



ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用しましょう。



ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消しましょう。



### 【4つの対策】

逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置しましょう。



寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用しましょう。



火災を小さいうちに消すために住宅用消火器を設置しましょう。



お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくりましょう。



## ご自宅の確認を！

### 住宅用火災警報器正しく設置してますか？

昨年死者が発生した住宅火災のほとんどが、住宅用火災警報器を設置していない住宅でした。

住宅用火災警報器は、音や音声で早期に火災を知らせるものです。

「いのち」を守るために正しく設置しましょう。

- ◆ 設置箇所は？  
基本的には「寝室」・「台所」・「階段(2階以上に寝室がある場合)」等です。
- ◆ 正常に作動しますか？  
1ヶ月に1度は、住宅用火災警報器が鳴動するかテストしましょう。  
設置後10年を目安に交換をおすすめします。

### 電気器具等の取り扱いは大丈夫？

配線や電気器具が原因の火災で死者が発生しています。日頃から次のことを心がけましょう！

